

北海道更別農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	1 「生徒一人ひとりを 一層輝かせ成長させ る教育」を行いま す。	・各学科各コースの特色を活かした農業学 習を推進するとともに農業クラブ活動を通 して、職業人としての資質向上をはかり社 会に必要とされる人材育成を行います。	・教育課程に則って農業 学習を実践した。農業ク ラブ活動では、全道実績 発表大会においてII類で 入賞した。また、全国大 会農業鑑定競技分野生活 で優秀賞を獲得した。	・農業学習を活性化さ せるためには、ある程 度予算が必要である。 外部助成金等を取得 し、学習の継続および 新規チャレンジを行え る体制を整える必要が ある。	5
	2 「世界と日本をつな ぐグローバル教育」 を行います。	・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万 博）に参加し、世界中の課題やソリュー ションを共有します。 ・JICA北海道と連携し、異なる国の農業や 文化に触れ、世界と日本について考えま す。	・三菱MIRAI万博で生徒 がプロジェクト学習の発 表を行った。また、JICA との連携によりラオスカ らの研修生が来校し、本 校の学校祭に参加し交流 した。	・世界情勢や感染症の 状況を見極めるととも に、予算面でも実現可 能なグローバルな学習 に取り組む。	5
II 地域社会・産業 に寄与する学校	3 「地域農業の生産を 支える教育」を行いま す。	・地域の産業や環境の特徴を理解し地域に 根ざした学習活動を進めます。 ・インターンシップにより職業観を育成す るとともに、関係機関と連携し農業にか かわる人材育成を目指します。	・花豆栽培および畜産分 野においてJGAPを取得し た。 ・インターンシップは、 各事業体と連携し9月に 実施した。	・JGAPを活かした実験 実習を展開する。 ・インターンシップに おいては、外部との細 やかな連携が重要であ る。	5
	4 「地域の農業関連産 業や6次産業化に寄 与する教育」を行いま す。	・地域の特産品および資源を教材としたプ ロジェクト活動をとおして、食品関連企業 等と連携を深めます。	・地元の食品企業と連携 し、本校で製造したトマ トジュースを原料とす る、新たなレトルトカ レー製造し、販売でき た。消費者に高評価を得 ている。	・食品関連の施設設備 の老朽化が著しい。安 心安全な食品製造学習 を実施するための施設 設備を早急に整備する 必要がある。	5
III 地球環境を守り 創造する学校	5 「地球環境を守り、 創造する教育」を行 います。	・地域の基幹産業である畑作・畜産の学習 をとおして、農業を起因とする環境問題 について学びます。 ・圃場の輪作体系を考慮し、緑肥作物（ひ まわり）を栽培します。	・地元の農協やコントラ クター、農業機械メー カーと連携し、堆肥や緑 肥を活用した循環型農 業を実践し、持続可能 な農業経営について学 んだ。	・持続可能な学校農場 経営を考えた際、費用 対効果を鑑みて、校内 で対応できることと専 門機関に依頼すべきこ とを整理し、実践する 必要がある。	5
	6 「地域資源を活用し、 地域振興の拠点と なる教育」を行いま す。	・地域資源を活用した加工品開発と地域イ ベントへの参加で、地域に貢献する活動 を行います。 ・草花栽培をとおした交流学習を行いま す。	・学校や更別での販売会 はもちろん、札幌や東京 の販売会に参加した。草 花の学習として、十勝花 コミュニケーションと花 フェスタ2025北海道農 業高校生ガーデニング コンテストに出品した。	・地域に根ざした魅力 ある学校にするため に、学習毎に外部によ る評価を得て、学習内 容を更に深めることが 必要である。	5
IV 地域交流の拠点 となる学校	7 「Society5.0の時代 に応じた教育」を行 います。	・作物栽培と家畜飼育において、ICT技術 を活用したスマート農業について学習を 行います。	・DXハイスクールの予算 を活用し、牛群管理シ ステム・農業用ドローン ・トラクターの自動操 舵システムを導入し、 ICT技術を活用した スマート農業について 学習を深めた。	・導入した設備を活用 した農業学習および農 場運営を実践しなけれ ばならない。そして、 生徒自らがそれらを活 用した学習を展開でき るようにしなければならない。	4
V 地域防災を推進 する学校	8 「地域防災を推進す る教育」を行いま す。	・常に防災意識を持ち、不測の事態に冷静 に対応できる態度を育てます。	・山内組のご協力による VR体験、自衛隊のご協 力による炊き出し体験、 更別村防災テントの設 置体験を実施して、生 徒に高い防災意識を身 につけさせることが できた。	・予算が無い中、各団 体には無償で協力して 頂いた。 ・生徒が常に防災意 識を持って日頃の生活 を送るために、事前 事後の指導を適切に行 う必要がある。	5